

シンポジウム 「日本のイスラームとクルアーン」

テロなど時事的な勢いが退く中、正面から宗教としてのイスラームに関心が傾きつつある。このような潮目の変化を背景として、本シンポジウムにおいては、日本におけるイスラームとクルアーン、さらにイスラーム学の現状を分析し、今後の展望を得ることを目的とする。なおクルアーンの新訳（『クルアーン—やさしい和訳』水谷周監訳著・杉本恭一郎訳補完）が2月初めに出る予定であり、それは当日配布する。

日時：2019年2月9日（土）13:30～17:00

場所：東京大学東洋文化研究所3階大会議室

講演：開会挨拶 長沢栄治 東京大学教授 5分
講師 水谷 周 イマーム大学アラブ イスラーム学院学術顧問
「クルアーン和訳と日本のイスラーム」 30分
大川玲子 明治学院大学教授
「世界のクルアーン解釈と日本」 同上
休憩 10分
塩尻和子 東京国際大学教授、筑波大学名誉教授
「日本のイスラームフォビア」 30分
四戸潤弥 同志社大学教授
「イスラーム学と日本のイスラーム」 同上
林 純子 東京弁護士会外国人の権利に関する委員会副委員長
「日本のイスラーム—法曹界から」 同上
質疑応答 35分
締めくくりと閉会の挨拶 徳増公明 日本ムスリム協会会長
10分
司会 杉本恭一郎 （NPO 法人）千葉イスラーム文化センター理事長
共催：東京大学東洋文化研究所班研究「中東の社会変容と思想運動」
（宗）日本ムスリム協会

参加につき事前登録不要。会場の収容人員は約80名です。

連絡先：長沢 nagasawa@ioc.u-tokyo.ac.jp 水谷 makmizu123@hotmail.com